

会報 潭潭

平成 26 年 4 月～27 年 3 月

目次

- ◆ 会報「潭潭」26 年度版をお届けします。
- ◆ 会報は平成 8 年に創刊し、23 年度まで年数回ずつ発行してきました。24 年 8 月には創刊から 23 年度分までを 1 冊にまとめ冊子にしました。
- ◆ 25 年 1 月、OB 会のホームページを立ち上げ、ホームページ(HP)を通して情報を発信しました。
- ◆ 25 年度は HP に掲載したものをまとめて会報「潭潭」としました。
- ◆ 26 年度は 2 回目の試みとなります。

☆☆☆ メッセージ

えっ！「ひらがな」で話す？	……	高橋恒治	2
情報保障を思う	……	高橋恒治	3
♪そして思い出	……	高橋恒治	4
教育は所詮	……	梅田信彦	7
共生社会の担い手に期待	……	本郷 光	10

☆☆☆ Q&A

気になる鉛筆の持ち方			11
------------	--	--	----

☆☆☆ 関連情報のページ

25 年度版「秋田のきこえとことば」から見えてきたもの			13
秋田県の難聴学級、通級指導教室設置状況（26 年度）			14
「秋田のきこえとことば」（H16 年度～H25 年度）から 【別冊 1～12】			
書籍紹介① 聴覚障害児の理解のために 第 29 集			15
〃 ② 難聴中学生の支援			
OB 会、及び現職担当者を支援する会の在り方に関する意向調査に結果 (回答数 6 回収率 31.6%)			16

☆☆☆ 編集子から	《	むのたけじ「99 歳一日一言」	9	》
	《	26 年度の主な動き	10	》

えっ！「ひらがな」で話す？

業界、専門用語には気を付けよう

聴言研OB会長

高橋恒治

私の教職スタートは中学校でした。数年して、小学校から異動してきた人の話し方に感心したことを思い出します。分かりやすい、優しい話し方の先生でした。中学、高校、大学生活を送り、中学校で教員となっていた私には新鮮でした。

あれから40数年。

最近、“「ひらがな」で話す技術”という本を読みました。私たちはひらがなで話したり、聞いたりしているのだ、漢字で話しているのではないという指摘に、これまた新鮮な思いを味わいました。

私たちは、漢字でなく「ひらがな」で聴いています。たとえば漢字で「用語」はひらがなで「ようご」と耳に届きます。「ようご」と単独に言われたときは、漢字では「用語」だけではありませんから、「養護」、それとも「擁護」なのか、漢字を探します。人の話を聞きながら受け取った「ひらがな」をその都度「漢字」に再変換しながら聴いているのであると著者は言います。納得です。

このように、ひらがなを再変換するとき脳は、一瞬話し手の言葉から集中力を切り、「ようご」→「用語」という変換作業を行うのですが、この再変換がうまくできないと、意味不明の言葉となります。「それは何？」「意味が分からない」ということが重なると、聞き手は集中力

を失い「何を言っているのか分からない」「話がつまらない」ものになります。

話がうまい人は、『聞き手は言葉をひらがなで受け取っている⇒ひらがなを漢字に再変換している』ことを理解しており、再変換が必要ない話し方をしているから、聞きやすいのだそうです。

再変換を必要としない言葉とは、ひらがなの多い言葉であり、ひらがなの多い言葉を「丸い言葉」、反対に漢字を使った「漢語」やカタカナを使う「外来語」は四角い言葉です。話のなかに漢字やカタカナ語がたくさん入っている話し方は気を付けましょう、と言っています。業界用語、専門用語がそれに当たります。

四角い言葉を丸くするには、三つの方法があり、その第一は分解すること。「山の高低」は「山の高い低い」に、「詳述します」は「詳しく述べます」に言い換えるようにします。次に、「転居」を「引っ越す」、「視覚」を「目で見える感覚」のように説明するような言い方に努めることが二つ目の方法です。

三つ目の方法が翻訳すること。翻訳と言えば、外来語を日本語にすることとピンときます。カタカナで表される外来語は、そのまま話し言葉にしないで、まずは日本語に翻訳するわけです。

書くときも、できるだけ四角い言葉を少なくし、丸い言葉を使うように心がけたいものですね。

参考 『「ひらがな」で話す技術

<西任暁子> サンマーク出版

(2014.4.4)

情報保障を思う

秋田県聴覚言語障害教育研究会

OB会 高橋恒治(ツツ)

♪「好きだよと きみの手のひらに 指文字で書いてみる ……」」。この歌詞は、NHK ラジオ深夜便（1月～3月）で流れていた松原健之さんが歌う『雪明かりの駅』（2015.1.21 リリース）の歌い出し部分です。作詞は五木寛之さん。手のひらに指で書いたものを指文字と歌っています。「好きだよ」と漢字とひらがなで書いているのです。

指文字といえば手話で五十音を表すものであり、手のひらに書きつづるものはないのですが、この歌詞のように、ペンで文字を書くように、指で文字を書くことと理解されているわけです。五木寛之さんにしてもそうですよね。文字といえば書き言葉全体を意味します。指文字は漢字やカタカナを表すことではないのですから「指かな」「手指かな」のように「かな」に対象を絞った言い表しをするのが、誤解されないためにも大事なことに思いました。

さて、秋難協の10周年の記念式典を機会に、貴会の活動を知り、1年半が過ぎました。この間、聴覚障害関連の世界が大きく前進していることを知りました。補聴器による聴覚補償の進展にもみはるものがありますが、一番に気付かされたことは、小学校（あるいは中学校）で手話、ノートテイクの導入が進み、実践がみられていることです。特に、親の会活動のネットで得られる情報から、全国レベルでどのような流れにあり、秋田で何が求められているかを知ることができました。生まれた時から耳に重い障害のある乳幼児の言語獲得では手話を母語(第一言語)とすることが有効であるとする文献も目に

し、これまでの音声言語をベストとしてきた取り組みが不十分であることを思い知らされました。

ノートテイクの場面も広がり、高校や大学での実践も検討されてきています。講演などでOHPを活用した手書き要約筆記から、IT技術を活用したパソコン要約筆記が当たり前（主流）のようになってきました。要約筆記の場面を何度か見せていただきました。手話通訳と違い多人数で機器操作が行われ、そこまでの事前の準備と当日の動きを見せてもらうと頭が下がります。高齢者が多い秋田では、広く利用される位置づけになる日も来ることでしょう。

一方パソコン要約筆記も、通訳の現場で情報保障を行うものばかりでなく、離れたところからの（遠隔による）情報保障が行われまでになっていますし、この原稿を書いているとき、宮城県聴覚障害者情報センターが昨年12月1日に設立され、最近オープン（1/30）したことを知りました。村井知事のメッセージ動画もホームページに掲載されていました。

秋田でもこうした先を行く取り組み（頂上を高くしていくこと）を実現させるには、底辺、裾野を広げる必要があります。そのためには「情報保障は聴覚障害者の人のためにある」とする一方、「聴覚障害者のためだけでなく、いわゆる健聴者にもメリットがある」ことを前面に出して一層PRすることが求められます。要約筆記の学びを通して、聞き取る、書き取る力が高まることはもちろん、どんな話し方をするのが聞き取りやすい会話になるのかなどについても気づくことができるでしょう。

27年度も手書き要約筆記の講座が企画されることでしょう。底辺の一人になるために受講してみようと思います。コミュニケーション力の向上に役立つことを期待して。 (了)

♪ そして思い出

会長 高橋 恒治

坂本九さんを知っていますね、永六輔さんを知っていますね、そして中村八大さんを知っていますね。「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」などをヒットさせた「ロク・ハチ・キュー」コンビです。丸山浩路（まるやま・こうじ）さんを知っていますか？ 本名・信昭。

それでは、知らない人のために……。丸山さんは永六輔さんと一緒に、世界初の手話で歌う曲を作詞しました。題名は「そして思い出」、昭和54年(1979)の作品です。もちろん、曲は中村八大さんが作り、坂本九さんが歌いました。B面曲だったのでヒットは？(A面は「あの時の約束」)

<p>1 誰かと話したい 楽しく話したい めぐり逢う誰かと ふるさとの話 そして思い出 思い出 雪舞う山 波よせる海 なつかしい祭 祭</p>	<p>2 あなたと話したい 楽しく話したい みつめあうあなたと 初恋の話 そして思い出 思い出 おいしいコーヒー 約束したデート 待ちぼうけの失恋</p>	<p>3 二人で話したい 楽しく話したい よりそうあなたと ハネムーンの話 そして未来を 未来を かわすくちづけ 愛しあう二人 すばらしい夢を君に</p>
---	---	---

『 誰か・めぐり逢う・ふるさと・思い出・山・海・祭 』『 あなた・みつめあう・初恋・コーヒー・デート・失恋 』『 二人・よりそう・ハネムーン・未来・くちづけ・夢・君 』と、大人になったときの人と人のかかわりの流れをうまく表しています。さすが永さん、丸山さん。同じ歌詞が繰り返されており、手話入門(言葉の練習)にととても適しているのです。

丸山さんは昭和16年(1941)、新潟県長岡市に生まれました。有名な「米百俵」の資金で設立された歴史ある阪之上小学校の卒業で、平成11年(1999)作られた「NHK 課外授業 ようこそ先輩」に出演し子どもたちと手話でかかわっています。「手話ってどんなもの?」「耳の不自由な人の不便」「校歌を手話で歌う」「手話パフォーマンス発表会」の流れで授業は進められたとありました。

日本で初のプロ手話通訳者を宣言<昭和41年(1966)>し、NHK「聴力障害者の時間」の初代メインキャスター<昭和53年(1977)から10年>、「手話ニュース845」のキャスター<平成6年(1994)>を務めたほか、ドラマ「君の手がささやいている」<テレビ朝日。平成9年(1997)、10年、11年、12年>などの手話指導もしています。心理カウンセラーから日本初のプロ手話通訳士となり、永六輔さんとの出会いから「そして思い出」が誕生しました。後年は手話通訳士から手話パフォーマー、ステージパフォーマーへ転身しています。

「そして思い出」の歌詞を味わいましょう。できれば次ページの解説を手がかりに手話で、そして歌ってみませんか。

(2015.3.25)

そして想い出 ※「親指を1指、人さし指を2指、……、小指を5指」と表記

◆ 歌 詞	め 手 話
1 誰かと	2指を伸ばし、指さす(2, 3回、左から右へ動かす。)
2 話が	両手を顔の横から近づけたら、手を二度開閉させる
3 したい	「好き」の手話
4 楽しく	胸前で広げた両手を交互に上下させる
5 話がしたい	2, 3と同じ
6 めぐり	両手2・3指の先を下に向け<歩いているしぐさ> 耳のあたりから鼻に近づけ、
7 逢う	両手の2指を立てて伸ばし、左右から近づける
8 誰かと	1と同じ
9 ふるさとの	それぞれ両手の1・2指を合わせてから、手のひらを前に出す<生まれる> 伏せた右手を下ろす<場所>
10 話	2と同じ
11 そして	手のひらを上に、胸前から右へ動かす
12 想い出	右手をあごから耳の横へ<過去>、手を開き、回すように頭上へ持っていく
13 想い出	12と同じ
14 雪	2指で歯をさす<白>
15 舞う	顔の前で広げた両手をヒラヒラと振り下ろす
16 山	右手で左から右へ向けて山を描く
17 波よせる	左手のこぶしく岩>に、右手の波が寄せる<二度ほどおこなう>
18 海	5指を口にあて<しよっぱい>、左から右へ手のひらで波の様子
19 なつかしい	広げた右手を、こめかみから頭上へ動かす
20 祭 祭	両手の手のひらを上にパッと広げ<お祝い> 両手の2指で太鼓をたたき、次に横笛を吹くしぐさであらわ
21 あなたと	2指で前方をさす
22 話がしたい	2, 3と同じ
23 楽しく話がしたい	4, 5と同じ
24 みつめあう	右手を顔の前に立て<鶴のように>、向かい合う左手(下に置く)に突き合わせる
25 あなたと	21と同じ
26 初恋の話	伏せて開いた右手を上げ、指さす<初めて> 胸前に両手でハートをつくり<恋>、「話」の手話…2と同じ
27 そして想い出想い出	11~13と同じ
28 おいしい	右手2・3指を口元に、ウットリした表情<香り> 次に右のほおを二度たたく<おいしい>
29 コーヒー	カップの中をスプーンでかき混ぜるしぐさ
30 約束	両手の5指をからませる
31 した	右手を伏せて、おろし
32 デート	立てた右1指を横に動かす。それを左手の立てた5指で追う。
33 待ち	あごに伏せた右手を添え(「待つ」)
34 ぼうけの	両手を広げ、下ろす(「だめ」の手話)
35 失恋	胸にハートをつくり、それを崩し、両手を細かく震わす
36 二人で	右手の2・3指を立て、目の前で左右に動かす
37 話がしたい	2, 3(22)と同じ
38 楽しく話がしたい	4, 5(23)と同じ
39 よりそう	両手2指を立て(会う)、真ん中へ近づける(そう)
40 二人	36と同じ
41 ハネムーンの	閉じた両手を胸前でパッと開き(新しい)、右手1指、左手5指を胸前で合わせる<結婚>。次に<汽車・飛<汽車>…左手のひらに、右手2・3指を付け、ひじを回す <飛行機>…右手1指・5指を立て、頭上へ
42 話	2と同じ
43 そして	11と同じ
44 未来を 未来を	広げた手を、こめかみから斜め上へあげる。繰り返す
45 かわすくちづけ	閉じた両手の指を、左右からソフトにつき合わせる<キス>
46 愛しあう	左手甲に右手を重ね、回す<愛する> 両手2指を伸ばし、肩から胸前へ、交差させる
47 二人	36(40)と同じ
48 すばらしい	握った手を、鼻から斜め右前方に動かす
49 夢を	右手のひらを上に向け、こめかみから斜め上へあげる
50 君に	右手2指を指してから、両手を広げ、前方へあげる

そして思い出

作詞：永六輔
丸山純路

作曲：中村八大

B \flat B \flat Cm

だれかと はなしが したい

Cm Cm7 B \flat

4 たのしく はなしが したい

A \flat G7 Cm

8 めぐりあう だれかと -

Gm C7 F7 B \flat

11 ふるさとの はなし せめて おせい -

F7 B \flat E \flat

14 ぞ おもいで ちきまうや -

D7 E \flat C7 F7

18 ま なみよせう - ぞ

B \flat F7 B \flat

21 なつかしいまつり まつり

教育は所詮

OB会 梅田信彦

①

川崎の中1の少年が発見された現場の河川敷には事件から2週間余が経った今でも吊念の献花があとを絶たない。テレビでも毎日のように放映している。けれど、ふと戸惑う。どうして、この少年への関心がこんなにも高いのか。事件の特異さがそうさせているのか。でも、どうして、これ程の関心が“生きている”ときに示されなかったのだろうか。とりわけ、教育現場での関心の薄さが気にかかる。

もし、この事件を未然に防ぐ手立てを考えるとしたら、その糸口は教育現場にある。しかし、教師も行政も「人」を遠巻きにしているだけで、その核心に立ち入ろうとしていない。どうしてもっと深く、保護者の懐の中へ入り込まなかったのだろうか。“親権は侵されない”から、それ以上は立ち入れなかったのだろうか。なまじ余計なことをして「懲戒」を受けるよりは何もしない方が得策かもしれない。でも、もし、一度でも保護者と

②

面談も来ていれば、事態は変わったかもしれない。けれど誤解しないでほしい。私は、今、特定の担当教師の行為を詰^{たじ}つているのではない。私は、ただ、現在の「教育」のあり方を危惧するのだ。もともと教育は、「親」と「子」と「教育」とが、緊密にタツクを纏まなければ成り立たないものだ。それなのに、今回の事件では、「親」も「子」も蚊帳の外におかれている。

昨年、さる新聞紙上に、「最近の支援学校の若い教師の中には、どう指導してよいかわからなさと悩んでいるものが多い」というような記事が載った。それを承けて、文科省では「手引き」を発行するとコメントしていた。なるほど、その「手引き」には多くの研究者の英知が網羅されて参考となる事柄も満載されていることと思う。でも、その「手引き」を見る前に、どうして目の前にいる、「親」と「子」から直接指導に結びつく「情報」を得ようとは考えないのだろうか。

③

全国学力テストでトワフの秋田県への他県からの参観が続いている。でも、その参観から何を学べるのだろうか。たった一日ばかりのそれも他県の教育現場の中に、明日からの自分の土地での教育の有り様に有益な何が隠されているのだろうか。何かしらこの「参観」には、地元の「風土」や「親」や「子」が、そして「教育」そのものまでもが疎外されかねない問題が潜んでいるようにさえ思える。

完璧な教育をあり得ない。人間だって万能をほない。いやむしろ、人間は欠陥だらけの愚な存在なのだから、教育も所詮はこの程度のものなのかもしれない。だから、それ以上に夢を望むのは酷かもしれない。

◆編集子から

一昨年、平成25年(2013)秋、岩波書店から「むのたけじ 99歳一日一言」が出ました。6月10日の一言は次のようなことばでした。

小学校の運動会では、いつもビリ組だった。でも恥ずかしいとは思わなかった。それでも欲求不満があった。子らがゴールのテープを切ると、三人の教師が走ってきて、一位と二位と三位の子に旗を渡して、その子らの肩を叩いたりした。四位以下の子らには見向きもしなかった。当時はわびしさを覚えるだけだったが、九八歳の今は怒りの声を上げたくなる。先に生まれたものが後に生まれた者みんなに対して、それにふさわしい心配りをするからセンセイなのではないか。そうではないか、センセイたちよ。

私は現在、聾学校の特別支援教育アドバイザーとして県内の難聴学級を訪問している。小・中学校には高度の難聴児も在籍し学校生活を送っている。このことは、補聴器や人工内耳の進歩にもよるが、周囲の理解が進んできていることも大きいと感じている。

聾学校では職員が小・中学校に出向き難聴疑似体験を含む難聴理解授業を行っている。授業後の子供たちの感想には、「補聴器をつけている人の気持ちがあった。」「耳の不自由な人でも周りの人のかかわりでみんなの仲間になれるのだなあと思った。」「これからは相手が聞きやすいように話しかけたい。」など、難聴児への理解や対応の仕方まで書かれているものもあった。将来の共生社会の担い手として大いに期待したいものである。

(秋田市退職校長会会報三十二号掲載)

◆26年度の主な動き◆

- ◆5月31日午後、県聴言研の総会・研修会が中通小学校で開催されました。
P13、14掲載の「秋田のきこえとことば」25年度版から見えてきたもの
<その1> を資料提供してきました。
- ◆8月8日 県聴言研の研究大会が大館市で開催されました。
別冊の「秋田のきこえとことば」<H16年度~H25年度>から を資料提供しました。
- ◆10月24日 中通小学校を訪問し、鎌田校長、通級担当・東海林さんを聴言研、OB会の在り方について意見交換しました。<石井、嵯峨、羽川、高橋>
- ◆平成27年3月28日
遊学舎を会場に『Akita 聴言のしゃべり場』を開催、P4~10掲載の「そして想い出 教育は所詮 共生社会の担い手に期待」を資料に語り合いました。
<梅田、石井、嵯峨、本郷、高橋>
しゃべり場の企画に当たっては、OB会員と聴言研から離れた元会員あて文書で、聴言研現職あてにネットを通して案内しました。

質問に答えて

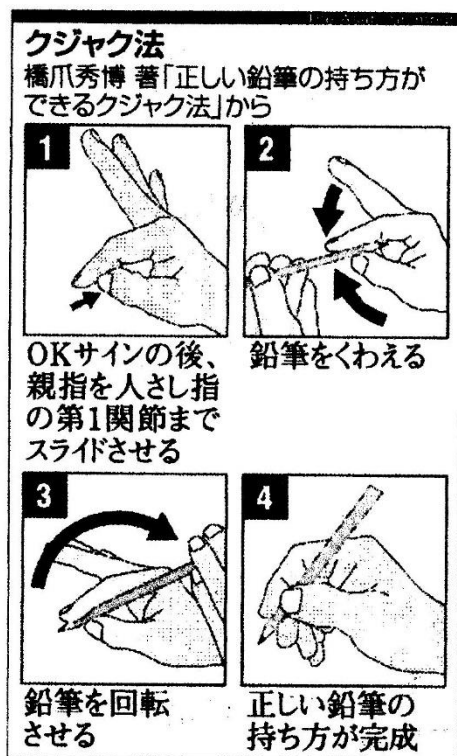
エンピツの持ち方

2014.4

- Q1 教室に通っている子供の中にエンピツの持ち方がおかしい子がいますか？
 Q2 持ち方指導をされた事例、以前取り組んだことがありますか？
 Q3 学校全体でエンピツの持ち方、ハシの持ち方などの指導事例がありますか？

回答校一 本校児童は正しく鉛筆を持って文字を書いております。鉛筆の持ち方について特別に指導した記録も残っておりません。全校で指導した記録もありません。今後の指導についても現在のところ計画はありません。

回答校二 A1 通級へ来る子にも持ち方がおかしい人がいます。 A2 そこで、文房具屋さんで市販されている鉛筆に装着するグリップを使っています。以前、書道の先生に「箸を持つようにして、下側になる箸を一本抜けば筆の持ち方になる」と教わりました。また、「クジャク法」なる方法もあるようです。画像がありましたので添付いたします。



回答校—3 A1 います。(箸の持ち方も悪く、箸の方はなかなか改善しません)

A2 ① 親指が前に出ている持ち方でしたので、昨年3年生で担任した時に根気強く指導しました。現在は、本人も気を付けるようになってきていて、文字も見違えるように上手になりました。本人は、字が上手になってきたことに自信をもっており、喜びが意欲につながっているような感じです。② 2本の指(親指と人差し指)でえんぴつの削ったところの少し上を持って、中指で支え持つという、基本の指形を丁寧に教えました。「親指は右方向へ線を引くとき大事」「人差し指は下の方向へ線を引くとき大事」「中指ははねるときに大事」ということなどを、硬筆に指導と共に指導しました。50音やカタカナの練習で美しい文字を書く練習をしながら少しずつ定着させています。文字が美しくなると意欲がどんどんわいてくるようです。

A3 正しいえんぴつの持ち方ができるように、指さくなどの器具を使用します。(1年生中心に) また、「えんぴつの正しい持ち方」の絵を教室内に掲示し、意識付けさせるようにしています。 新入生説明会の時には、保護者に呼びかけて、家庭でも箸の持ち方やえんぴつの正しい持ち方を観てもらおうようにしています。

回答校—4 A1 正しい持ち方が身についている子は、クラスの半分強 といったところでしょうか。誤り方のパターンはいくつかありますが、親指を人差し指にかぶせるように持つ子が多いと感じています。手が小さいうちに、手に合わない筆記用具を持つようとして、固定するような持ち方になっているのではないかと推測しています。次に多いのは、手首を内側に入れて鉛筆の先を自分に向けるようにして持つ持ち方です。

A2 1年生を担当するときには、持ち方や運筆を指導しますが、誤って身についた持ち方をなおすのはとても難しいと感じています。

市販されている「もちかたくん」(シリコン素材の)を用いたり、手の大きさに合った目玉クリップを鉛筆につけて三点支持を促したりしました。夏季研でアクセスインターナショナルの方が紹介して下さった補助具はとてもいいと思うのですが、値段が高いのが難点です。

A3 校内でも鉛筆の持ち方の話題はあがり、気にかかっている教員は多いと思いますが、学校全体での取り組みはしたことがありません。

回答校—5 A 鉛筆の持ち方が気になる生徒は、各学年に数名おります。ですが、全校を上げて取り組んでいるということはなく個別に指導をする程度です。

以上5校から回答いただきました。ありがとうございました。

平成 26 年度 秋田県聴覚・言語障がい教育研究会 研修会・総会 2014.5.31 聴言研 OB 会 高橋

「秋田のきこえとことば」²⁵年度版から見てきたもの 《その1》

I やはり担当者の入れ替わりが激しい。

1 その学校での担当年数は？ ()は他校経験ありの内数。実際の担当年数はプラスされる。

■難聴学級 名中

初めて—1年目 2年目 3年目 4年目 5年目

15人(3人) 12人(1人) 3人 0人 1人

◆通級指導教室 名中

初めて—1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目以上

15人(5人) 9人(3人) 6人 6人(2人) 1人 2人

2 ■難聴学級の場合。その児童生徒を担当するのはあなたで何人目？

	小2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1年生	中2年生	中3年生
一人目	1校				1校		3校	
二人目	2校	1校	4校	6校			1校	1校
三人目				1校	1校			1校
四人目					2校			
五人目					1校			

※ほかに、小1年在籍が2校。

II レポートは何ページ？

■難聴学級

	1ページ	2ページ	3ページ	4ページ
一人配置	1校	15校		11校

◆通級指導教室

	2ページ	4ページ	6ページ
一人配置	11校	4校	1校
二人配置		8校	1校
三人配置		1校	

III レポートから

① ■難聴学級 人工内耳、FM補聴器、難聴理解学習、手話、ノートテイク、
高校・大学進学を視野に入れた取り組み

◆通級指導教室 言語、LD、幼児、SST、高校ではどうなる。

② a 特別支援教育のポイント(個別の支援計画、特別支援教育になったメリット)は？

b 保護者とのかかわりの濃さは？

c 関係機関との連携、支援は進んでいるか？

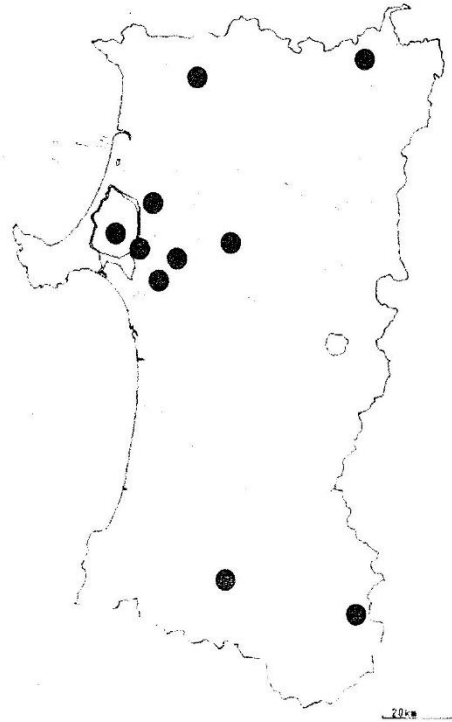
③ 読んでもらえているだろうか？

☆ まとめ 少なくとも3年、できれば5年は担当してほしい。経験を通常学級の子どもに生かしてほしい。そして、思いはいつまでも。 見えてきたものの続きの《その2》は8月の研究大会にて。

26年度 秋田県 難聴学級 通級指導教室の設置状況

(難聴◎ 言語通級○ LD等通級△)

鹿角	小◎◎◎			
大館	小◎◎◎◎◎△	中	△	
大館福祉	幼○			
北秋田	小◎ ○ △	中	△	
八峰	小◎	中◎		
能代	小◎ ○ △			
男鹿	小 ○			
潟上	小	△	中◎	
秋田	小◎◎◎◎◎◎	○○○△△△		
	中	△		
由利本荘	小◎○ △△	中◎		
にかほ	小◎◎◎	中	△	
大仙	小◎○ △	中	△	
仙北	小◎◎◎◎△	中	△	
美郷	小◎	△		
横手	小◎◎◎ △	中◎◎◎△		
湯沢	小 ○ △	中	△	



未設置の町村 10 (地図上の ●)

小坂町 藤里町 三種町 上小阿仁村 大湯村 八郎潟町 五城目町 井川町 羽後町 東成瀬村

◎ 難聴

鹿角	花輪北小・十和田小	大館	西館小・長木小・城西小
北秋田	鷹巣小	八峰	八森小・八森中
能代	向能代小	潟上	天王南中
秋田	中通小・日新小・御所野小・河辺小・岩見三内小・四ツ小屋小		
由利本荘	尾崎小・矢島中		
にかほ	小出小・金浦小		
大仙	高梨小		
仙北	角館小・神代小	美郷	六郷小
横手	増田小・山内小・横手明峰中・平鹿中・増田中		

○ 言語通級

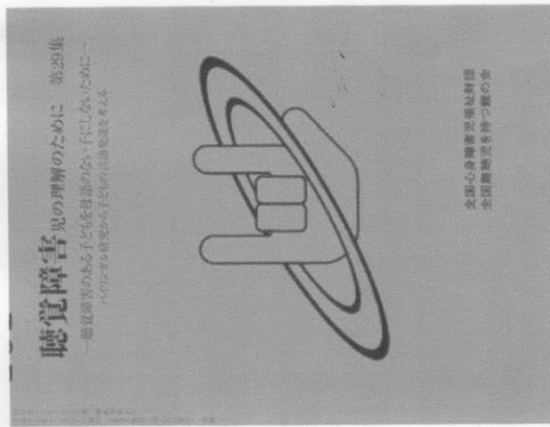
鹿角	花輪小
大館	扇田小・桂城小 大館福祉事務所
北秋田	鷹巣小
能代	湊城南小
秋田	中通小・旭南小・土崎小
男鹿	船川第一小
由利本荘	鶴舞小
にかほ	象潟小
大仙	花館小
仙北	角館小・生保内小
横手	朝倉小
湯沢	湯沢西小

△ LD等通級

大館	桂城小・第一中	北秋田	鷹巣小・鷹巣南中	能代	湊城南小	秋田	中通小・土崎小・桜小・山王中
潟上	大豊小	由利本荘	鶴舞小・矢島小	にかほ	仁賀保中	大仙	花館小・大曲中
仙北	角館小・角館中	美郷	六郷小	横手	朝倉小・横手北中	湯沢	湯沢西小・湯沢南中

◆聴覚障害児理解のために 第29集

全国難聴児を持つ親の会、平成17.12発行のテキストです。
聴覚障害児にとって「母語」が大事であり、従来の音声言語、口話言語
だけが重要で、「母語」になるとはならず、手話言語が「母語」に
なる子どものいることを忘れてはならないことを教えてくれます。
聴覚障害のある子どもを母語のある子にしなければならぬ。そのため
には、母語を育てるにはどのようなようにすればよいのでしょうか。
<送料別の400円>



◆難聴中学生の支援 白井一夫著

小学校の通級教室・学級の数に比べて、中学生対象のものは比較になら
ないほど少ない。難聴中学生に対する支援が進まない状況に、何とかして
一石を投じたいとしてまとめたものです。
「聴覚障害」誌で、平成25年9月から6回にわたり連載しました。それに
加筆修正したものです。
新潟市早川町2丁目3215 難聴理解ハンドブック事務局
<送料別の500円>



OB会、及び現職担当者を支援する会の在り方に関する意向調査

<あなたの本音を（記述、または該当記号に○を付して）お聞かせください。
集計の際、個人名を出すことはありません。>

回答者 A B C D E F

- 1 初めて聴覚障がい、言語障がい、発達障がいを担当したとき、そして、担当して数年経過したとき、それぞれ課題があったと思われます。その大きなものは何でしたか。それをどのような方法で解決していききましたか？

1) 初めて担当したころ

ア 課題

- A 発音のなおし方
- B 当時は、言語障害の種別や実態、指導法など全然分からないまま担当になりましたので、1年生全員に実施する「ことばの検査」をどうするのか悩んだ記憶があります。また、側音化構音の指導方法が分からず、歪み音が残ったまま退級することになった2年生児童に対して、「あと半年あったら…」と自分の力不足を悔みました。
- C 構音障害や吃音などの指導方法が分からなかったこと
- D ・子供と何をすればよいのか、どう接するのか。
・構音指導の方法
- E 指導の内容・方法が分からなかった。(構音障害)
- F 障がいそのものについてと指導法についてわからない。経験がない。

イ 解決のために努力したこと

- A いろいろな研修に参加した。
- B 通級指導教室を担当している先生方に指導を仰いだり、夏休みを利用して中央で開催される実技研修会に参加したり、また、久里浜の「はじめの一步」などの研修会にするなどして自己研修に努めました。
- C 本を読んだり、他のことばの教室の先生に聞いたりした。
- D ・様々な研修を受講した。
・教室備え付けの専門書を読み続けた。
- E ・OB会の研修会、県南ブロックの研修会に参加した。
・専門書で勉強してノートにまとめた。
- F 経験のある先生のところに研修に通った。

2) 担当して数年経過したころ

ア 課題

- A 発達障害児の指導
- B 言語障害児だけでなく発達障害児と思われる子供たちが通級するようになった

と同時に、保護者や在籍校の担任などへの理解啓発、専門機関との連携などの問題が必要になってきました。

- C ・子どもとのレポート作りや言語発達遅滞の指導
 - ・言語発達遅滞の中に知的障害の子どももおり、指導や保護者の理解が難しかった。
- D 通級指導教室に移行したことで、その体制をつくること
- E 吃音や言語発達遅滞に対する指導や実態把握の仕方
- F 子どもの障害(難聴)が重く、これまでの経験だけでは足りず、手話が必要になった。

イ 解決のために努力したこと

- A いろいろな研修に参加した。
- B 通級指導教室の存在や指導内容、指導対象児童、実態を知ってもらうために校内研修会を実施し、共通理解してもらうようにしました。
- C ・言語発達遅滞の中にコミュニケーションのとりにくい子どもがおり、前の担当者や担任からかわりのヒントになる話を聞いた。
 - ・試行錯誤だった。
- D 様々な研修での他教室担当者との情報交換
- E 山形や東京の研修会に参加して勉強したり、インターネットで情報収集したりした。
- F 手話を独学で学び、ろう学校に子どもを連れて交流に行き、地域支援部の支援も受けた。

2 ご案内のとおり OB 会は、1 に記されたような課題を少しでも少なくしてもらいたいと、当時担当を離れた人たちが中心となって平成 8 年創立し、今日まで企画・運営してきた会です。現在あなた様は入会されておりませんし、多くの人が必要としていないから会員が増えていかないのはなぜだと思われますか。(複数選択 OK)

- ア OB の名称から退職後に入会する会のイメージがある。
- イ OB 会への誘いが無かった。 A
- ウ OB 会の取り組みが時代の流れに合っていないので、魅力や必要感が無かった。
- エ OB 会に入会して活動するだけの力量を持っていないと感じていた。
 - A B E
- オ 担当を離れたら、この教育への関心が薄れた。
- カ その他
 - (B 介護老人を抱えている家庭事情もあり、土日開催の行事や夜の行事には参加できにくいということがあります。
 - C 異動すると、その先の仕事や課題が多く(特に特別支援教育の制度やコーディネーターの任命になってから仕事量が格段に増えました。) なかなか難言のことに時間をかけられない。ここ数年は市の特支研の事務局だったり、

(近く開催の)大会の準備に追われています。

- D まだ現職であり、他の障害の担当となったこと(知的障害)で、そちらの方面の勉強をしなければならないし、校内での特別支援コーディネーターにも指名されており、特学や支援員関係でも実に多忙です。申し訳ないのですが、そちらに関わる精神的&時間的余裕がありません。
- F 課題の解決に直接結びつかない。現役で他の学級に移ると、そちらの方で精一杯で余裕がない。

3. 今後も先輩担当者が、現在の難聴学級や通級指導教室の担当者を支援する組織が必要であるとする前提で選んでください。

1) 組織の名称・形

ア これまでと同じ名称で会を継続する。(「聴言研 OB会」)

A どっちともいえない。 D E

イ 発達障がい等も扱っていることが分かるような名称にする。

A どっちともいえない。 B F

ウ 単一障がいを支援する会として、それぞれ分けて組織化する。

エ その他 (

C いいものが浮かびませんでした。現在のものと別の名前にする、という考え(「あすなろ会～難聴学級と通級教室の教育を支える会」みたいな……?)もあります。「言語障害」という用語も、長くやっている人は分かりますが、発達障害の通級の人は、「自分の仕事とは関係ない」と思っているかもしれません。

2) 対象とする障がい等 (複数選択 OK)

ア 聴覚障がい A B C D E

イ 言語障がい A B C D E

ウ 発達障がい A B C D E

エ 知的障がい

オ 障がい種による分け方をしない。 F

カ その他 ()

4. 3の支援する組織(支える会)に入ってほしい人たち(会を構成するのが望ましい人たち)を選んでください。(複数選択 OK)

ア 学級、教室の担当者 B C D E

イ 設置校の関係職員 B C

ウ 設置校の管理職 F

ウ 学級、教室の保護者 ※G

エ 元担当者 A C D E F

オ 会に賛同する者 A B ※C 今は個人情報の管理に厳しいので、保護者や一般の人はやめた方がいいように思います。 D F

- カ その他 ()
- 5 他の会活動の経験や情報から、現 OB 会を継続させていく、あるいは支える会（仮称）を新たに発足させるとすれば、どのような運営、企画をして行ってほしいですか。アイデアを聞かせてください。＜会に入る、入らないに関係なく自由に書いてください。＞
- B 発達障がい児と言語障がい児を対象とする指導の実際や教室運営についての情報交換など全県規模の研修会、あるいは情報提供などがあればと思います。
- C 市や県の研修会はあるが、不十分なので、5～6月頃に1回又は7～8月(夏休みに1回)くらい。
- ・最新の動向などの内容は講師の手配や中味の検討で大変なので、教室の経営や保護者対応など、いつの頃も大事な内容に絞ってもいいのではないかと思います。
- E 勉強会
- 6 支える会（仮称）等への誘いあれば、あなたは入会しますか？
- A 入会して、現職をすこしでも支援したい。
- I 条件次第で入会する。 E
- （条件とは何ですか？ E 現在の担当学級の指導を優先させること）
- ウ 入会する気持ちは無い。 A D
- エ その他（
- B 今のところは家庭事情もあり、土、日、祝日等の活動が制限されますので入会できないと思います。
- C 分かりません。
- D ネットで構音指導も学べるし、会の必要性を切実に感じていません。
- F そのときになってみないとわからない。
- 7 OB 会の事業として、この秋（11 月末前後）に懇親会を企画します。今回は現場の人たちも交えて語り合う場にする予定です。企画ができたとき、案内を送付してもよろしいですか？（OB 会への入会を勧誘するための懇親会ではありませんのでご安心を！）
- A 案内を送っても構わない。 A B C E F
- I 案内の送付は必要ない。 D（家庭の事情があり、参加できません。）

ご協力ありがとうございました。

【 回答集計作成 2014.11.29 】